

回 答 書

工事名：市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）

	質 問 事 項	回 答
1	図 A-22 凡例の LGS 下地壁が平面図で確認できません。 階段・EV 横の EPS の間仕切りのみと考えてよいですか。	各階③通り EPS の L 型平面壁，1 階通路の PS 壁，1 階通路の引込盤上部壁とメールボックス上部壁について，LGS 下地壁を見込んでください。なお，階段・EV 横の EPS はコンクリート壁です。
2	図 A-074，082 キッチンバックスペースの天板は SUS でよいですか。	お見込みのとおりです。
3	図 A-124 ⑪～⑫RC 製ため桝は 2 次製品でよいですか。	⑪～⑫RC 製ため桝は，現場打ちコンクリート桝を見込んでください。 参考図 1 を添付しますので確認してください。
4	①図 A-117 アスコン別途工事は本工事後施工でしょうか。 ②境目は養生のため，栈木等を残置する必要がありますか。 ③また，通路インターロッキング別途工事周囲の縁石は本工事でしょうか。 本工事の場合，凡例①～③の何れかご指示ください。	①「アスコン別途工事」は本工事後に施工する計画です。 ②栈木等を残置してください。 ③縁石は本工事として見込んでください。（凡例①）
5	図 A-140 集会所基礎以上着工時，新築棟南側への重機出入りは住宅用仮設駐車場を通過すると考えてよいですか。	お見込みのとおりです。ただし，住宅用仮駐車場の通過が最小限となる工程としてください。

6	図 A-140 既存 3 号棟及び浄化槽は本工事の外構施工範囲と重複しています。3 号棟解体のスケジュールをご指示ください。また、既設号棟との取り合いについて特記があれば、あわせてご指示ください。	3 号棟は令和 7 年 4 月から解体する計画です。また新築に支障となる浄化槽の一部（新築工事に影響がある部分）は 1, 2 号棟の解体時に撤去します。
7	施工関係者通勤車両駐車場として、皆実第三公園若しくは宮沖雨水排水ポンプ場の敷地の一部を借地可能ですか。 可能な場合、賃料も含めてご指示ください。	・皆実第三公園の借地：長期間の借地については、町内会の利用などがあるため難しいです。 ・宮沖雨水排水ポンプ場の借地：下水道整備課との協議が整えば可能です。借地可能部分に限度はありますが、現時点で部分的な使用であれば可能です。賃料は市の規定に基づいて面積や期間などで決まりますので、下水道整備課に相談してください。
8	図 A-140 工事用車両出入口扉について、凡例と詳細図に W 寸法の相違があります。凡例が示す、有効開口 7.2m×2 か所を正と考えてよいですか。	お見込みのとおりです。
9	図 A-142 表層改良について ①目的として、 深度-1m 部は杭工事、揚重作業に伴う重機転倒防止、 深度-1.8m 部は付属棟（駐輪場、トランクルーム等）沈下防止と考えてよいですか。 ②各改良天端について、 深度-1m 部：鋼矢板内ー現状地盤、左記以外ー舗装外路盤下、 深度-1.8m 部：付属棟基礎下 と考えますか。 ③仕様重複部分は、-1m 部施工、基礎掘削時撤去、基礎埋戻し後、-1.8m 部施工と考えますか。	①お見込みのとおりです。 ②深度-1m 部：お見込みのとおりです。 深度-1.8m 部：付属棟の地盤面より-1.8mまでとしてください。 ③お見込みのとおりです。

	④改良施工のタイミングについて、 深度-1m 部：仮囲い設置後、 深度-1.8m 部：基礎埋戻し、鋼矢板撤去後 と考えてよいですか。 ⑤また、既存棟側範囲が仮囲い外となっていますが、他外周部もあわせ、仮囲い控え柱より内側の施工と考えてよいですか。 ⑥硬化により、集会所部以外の杭掘削にはあまり影響はないものと判断しますが、矢板、外構埋設物（桝・配管等）施工に支障はないですか。ご指示ください。	④お見込みのとおりです。 なお、地盤改良については工事着手前に土質試験等を実施してください。試験結果により、可否を含め深度及び範囲を確定してください。 ⑤お見込みのとおりです。 ⑥矢板、外構埋設物の施工については、支障が最小限となる範囲での地盤改良に努めてください。
10	図 A-141 【特記事項】 工事に伴う湧水等は公共下水道へ排出とし、排出量は 2,800 m³を想定とありますが、敷地内の公共桝へ接続し排水と考えるのでしょうか。また、下水道料金及び精算方法についてご指示ください。 下水道料金は工事用仮設水道使用量に伴い精算と考えます。	湧水等については、ノッチタンクを設置し、上水を側溝へ放流してください。
11	3 号棟外、既存污水管が新築計画部へ布設されていると思われませんが、4 月着手までに污水管の移設等は完了するのでしょうか。	同時期に着手予定の機械設備工事（別途工事）にて移設する計画です。
12	①図 A-117 「新築工事範囲⇔解体工事後工事（3～5 号、母子寮解体後）」の施工区画線の図示がありますが、3～5 号棟、母子寮解体工事の予定工期をご指示ください。 ②新築完成→3～5 号棟、母子寮既存入居者移転→3～5 号棟、母子寮解体→解体工事後外構工事が本工事工期内で履行されるのでしょうか。解体工事等も含めた全体スケジュール及び工事範囲変遷図をお示	①3～5 号棟、母子寮解体工事は令和 7 年 4 月から 10 月を予定しています。 ②図 A-117 に示す解体工事後工事（3～5 号、母子寮解体後）の範囲は別途工事としてください。

	してください。	
13	図 A-32, 135 壁の硬質ウレタンフォーム t=30, 50 の範囲が不明です。 図 A-32 により, 1 階通路外壁に面する内壁が t=50, その他外壁面内壁が t=30, 間仕切りが t=20 と判断してよいですか。	カラー参考図 2 を添付しますので確認してください。
14	図 A-121 駐輪場の土間はアスファルトで, 基礎部分のみコンクリート押えということでしょうか。	駐輪場の土間はコンクリート舗装を見込んでください。
15	図 A-127 AS 桷①②は図 A-124 平面及びリストで確認できません。AS 桷①②はないと判断してよいですか。	お見込みのとおりです。
16	図 A-137 硬質ウレタンフォーム 70mm は特注で最低ロットが 400 枚から購入になります。同等の性能のミラフォームラムダ 66mm×910mm×1820mm でもよいでしょうか。	BELS (ZEH), 省エネ適判, 住宅性能評価の申請内容の変更となるため, 契約後, 可否について関係機関を含め協議させてください。